令和6年6月1日発行

倉吉市議会だより

白壁

3月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆（要約）したものを基に掲載しています。

今号の内容

市政に対する一般質問・・・2～9
議案に対する質疑・・・・・・・10
常任委員会・・・・・・・・11～12
議案等の議決結果・・・・・・・13
特別委員会・・・・・・・・・14
視察報告・・・・・・・・・・15
市民の声・6月定例会・編集後記・16

撮影者：議会だより編集委員

令和６年３月23日（土）
C11蒸気機関車修復プロジェクト完成式（C11蒸気機関車展示場）

No.29

令和６年３月第２回倉吉市議会定例会が、令和６年３月１日(金)から３月22日(金)まで開催されました。
会議録（質問・答弁など）は、市立図書館でご覧になれます。
市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

市議会会議録検索システム

【市政に対する一般質問】

【一般質問とは？**】**
　年４回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に１人あたりの質問時間は２５分です。

一般質問通告一覧表

会派名	議員名	発言通告要旨
やらいや	丸田 克孝	◎ 公共交通について
		◎ 「ひなビタ♪」の取組について
		倉吉の色は何色になるかについて
	田村 閑美	西エリア保育所再編計画について
		◎ 公立中学校部活動について
		◎ 産後ケアの取組について
		起業支援について
	藤井 隆弘	◎ 元気でくらしよい倉吉について
		◎ ごみ処理（倉吉市と中部地区全体の取組）について
		◎ 介護保険と認知症（初期段階）について
	福井 典子	◎ 子育て支援について
		◎ 地域資源を活かした観光の振興について
	山根 健資	◎ 巨大災害（南海トラフ）に関してについて
		◎ 倉吉市結婚新生活支援補助金について
		「バーチャル倉吉事業」の妥当性について
		◎ 日本一美しい廃線跡　関金廃線跡の整備について
	大月 悦子	◎ 能登半島地震からの教訓について
		日本女性会議２０２２ in 鳥取くらよし開催後について
	大津 昌克	まち・ひと・しごと創生総合戦略と人口ビジョンについて
		◎ こども政策の推進について
		公立保育所再編について
		市長部局と教育委員会の事務について
	朝日 等治	◎ 史跡大御堂廃寺跡の整備について
		◎ 星空舞の生産支援について
		令和１５年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について
		関金地域の賑わい維持について

会派名	議員名	発言通告要旨
新政会	伊藤 正三	◎ 市民への食を通しての健康管理について
		◎ 里山整備について
		◎ 少子化対策について
	米田 勝彦	◎ 災害対応について
		監査について
		◎ 市街地活性化について
		◎ 外国との教育交流について
	鳥飼 幹男	◎ 災害用マンホールトイレ整備計画について
		倉吉市耐震改修促進計画について
		◎ 安価で合理的な「低コスト耐震改修工法」について
	鳥羽 昌明	◎ 能登半島地震を教訓とした防災減災対策について
		倉吉西エリアの保育所再編問題について
	竺原 晶子	◎ 心のケア、早期発見対応について
		◎ スクールソーシャルワーカーとの連携について
		メディアの長時間利用について
		◎ ひとり親家庭子ども養育支援事業について
日本共産党	佐藤 博英	◎ 防災について
		◎ 小中学校の問題について
		保育問題について
		中山間地問題について
		マイナカード、ゼロゼロ融資について
		会計年度任用職員の待遇改善について
		障がい者問題について

◎印のついた質問は、次頁以降に記載しています。

【通告とは？**】**
　本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。
　なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね２週間前に倉吉市ホームページに掲載されています。

定例会の一般質問
発言通告表

やらいや
丸田 克孝（まるた かつたか）

公共交通について

問 2024年問題について、本市の対策は。バス路線に影響はあるのか。

答 ドライバーの勤務時間問題は、農産物の運送に影響が出る可能性があり心配している。バス路線への影響は、各事業者ごとに従業員確保・観光バス事業の取り組み等により対策を講じることで影響はないと確認しているが、5年後、10年後には影響が出る可能性もあり、県と協議を重ねていきたい。

問 過疎地におけるライドシェアの取り組みはどうか。

答 現在、市内において需要はないのではないかと様子を見ており、関金地区では乗り合いタクシーの導入も検討している。高城・北谷は今後、関金を参考に取り組んでいきたい。

「ひなビタ♪」の取組について

問 「ひなビタ♪」の今後の取り組みについては。

答 今年度で10年となるので、様々なイベントを検討し、「ひなビタ♪」を介して交流人口の増を図っている。このたび、銅像のお披露目も予定している。今後も継続してグッズの開発等を進め、関係人口を増やしていきたい。

問 バンドコンサートを開催してはどうか。

答 県も中高生のバンド活動を応援するための予算が計上されている。音楽を介して交流人口が増えることは良いことなので、本市としても検討してみる。

やらいや
田村 閑美（たむら しずみ）

公立中学校部活動について

問 公立中学校において生徒の希望する部活動が無いところがあるが、今の現状はどうか。生徒の希望も聞き、地域で取り組んでいるクラブチームやスポーツ団体などの紹介、案内もしてほしい。

答 部活動は以前は全員加入であったが、生徒減少で外部移行するところもあり任意加入である。クラブチーム等の紹介は積極的に行っていきたい。

問 地域移行による指導者人材育成を進め、部活動同様財政的支援もしてほしい。

答 財源確保については、県が上程されている予算の中身では一部経費補助の要求はあるが、指導者への具体的な謝金には至っていない。本市においては文化活動においても重要だと思う。国、県の動きを注視しながら本市の在り方をこれから考えたい。

産後ケアの取組について

問 本市の取り組み状況と今後の必要性は。

答 産科医療機関1者、在宅助産師2者に産後ケア事業を委託しているが、受け皿が十分ではない。
令和6年度乳児デイサービスも無償になるよう準備を進めており、県立厚生病院での受け皿も増える予定。湯命館等での産後ケアイベントや民間企業での産後ケア事業の支援については、ハード面、ソフト面は県の補助率2分の1の支援や本市の支援事業を利用してもらうことで可能になるのではと考えている。

やらいや
藤井（ふじい） 隆弘（たかひろ）

くらしよし倉吉プロジェクトについて

問 この事業で市長が期待されていることを問う。

答 本市の最重要課題として、しっかりこの事業に取り組み、本来の成果が出るのが5年または10年近くかかるかもしれないが、長い目で見ていただき、若者の人材がきちんと残るような対応をしていきたいと思っている。

ごみ処理基本計画について

問 高齢者のごみ出し支援制度について問う。

答 自力でごみを出すことが困難な高齢者に地域包括支援センターで高齢者のごみ出し相談を受け、必要な場合はごみ出し支援も行っている。ごみ袋にもう一つ小さいサイズを新設してみてはどうかと考えている。ほうきリサイクルセンターの持ち込み料金の改定が10月から予定されているため、ごみ袋の単価見直し、高齢者のごみの量に応じたサイズの採用をしてごみの減量化につなげるよう検討している。

介護保険と認知症について

問 介護保険サービスを受けるに当たっての一般的な流れは。

答 ①本人や家族が地域包括支援センターまたは市役所長寿社会課に要介護・要支援認定の申請
②認定調査員が本人の動作確認や生活状況の聞き取り
③主治医が本人の心身の状況に関する意見書を作成
④認定審査会を経て要介護度が決定
⑤必要となる介護保険サービスを利用

やらいや
福井（ふくい） 典子（のりこ）

子育て支援について

問 乳幼児の睡眠中の安全確保について、各保育施設の状況をどう把握し、指導しているか。

答 各園が午睡チェックシートに0歳児は5分ごと、1歳児は10分ごと、2歳児は15分ごとにチェックし、記入者だけではなく二重三重に確認している。県の行政指導監査においても確認、指導、啓蒙がなされている。研修会等も検討し、さまざまな危険リスク回避に努める。

問 子育て応援駐車場を設置してはどうか。

答 令和6年度に本市が整備予定の県立美術館の西側駐車場を含め、第2庁舎駐車場にも設置する。

地域資源を活かした観光の振興について

問 関金地域の観光振興について、道の駅・湯命館・都市交流センターは一つ一つではなく、総合施設として検討してはどうか。

答 一定の効果は期待できると思うが、立地条件などを考えると難しい。アンケート結果や地域の方の意見も踏まえ、年度末には方向性をまとめ、令和6年度にはあり方について中間まとめを作成する。これをもとに改めてパブリックコメントを実施する。今後、利活用が進むような取り組みにつなげたい。

やらいや
山根 健資（やまね けんし）

巨大災害（南海トラフ）について

問 巨大災害（南海トラフ）の備えは。

答 広域的な連携と準備も必要。本市の孤立を想定して、千葉の松戸市・館山市と協定を結んでいる。広域連携を含め、今後の地震対策をしっかり検討し、経済活動を維持するBCP（事業継続計画）の観点では、支援機関と確認しながらPRしていく。

問 指定福祉避難所の設置状況と受け入れ体制は。

答 指定福祉避難所は、市内に5カ所。要配慮者の緊急受け入れに関する協定を締結している社会福祉施設等の数は市内に38施設。

倉吉市結婚新生活支援補助金について

問 倉吉市結婚新生活支援補助金の新しいルールとは。

答 支給要件の所得制限500万円を廃止し、対象年齢上限を35歳から39歳まで拡充した。支給要件が変わりさかのぼっての支給はしない。

日本一美しい廃線跡 関金廃線跡の整備について

問 関金廃線跡の整備は。

答 関金廃線跡は、来春オープンの「星取りテラスせきがね」との相乗効果も合わせて、中部の新たな一大観光地となると認識している。地元要望を踏まえて、令和6年度の予算で受け入れ環境改善に努め、県とも相談をしながら持続可能な整備を図っていく。

やらいや
大月 悦子（おおつき えつこ）

能登半島地震からの教訓について

問 災害関連死を防ぐために平常時の心構えが必要と考えるが。

答 段ボールベッドや段ボールの間仕切り、水なしで利用できる歯磨きシート、アルコール消毒液など、災害時に備えて備蓄をしていることに加え、水洗トイレカー2台、水循環シャワーカー1台、スポットクーラー30台の購入費用を令和6年度当初予算で提案しており、マンホールトイレも指定避難所となる各小中学校に整備することとしている。今後、ストレッチ体操を避難時において実施することを周知したり、本市が行う防災訓練や地域の避難訓練で、水なしで利用できる歯磨きシートの使い方などを普及啓発することを検討したい。

問 ライフラインの対応は。

答 上水道管路の耐震化は、年間約3億円を予算計上し（令和6年度の予算を含む直近5年間で約15億5千万円）、管路延長として9.5kmの対応を取っている。平成8年7月の水道料金改定から料金の見直しをしていないため、今後は水道料金も見直しつつ耐震化率の向上のスピードアップを図りたい。

問 「医療的ケアを必要とする方の災害時にも使える対応ノート」（県が発行）を日頃から関係者と情報共有し、連携することが大切と考えるが。

答 今後もノート作成の勧奨をし、かかりつけ医等との連携も図り作成に注力していきたい。

やらいや
大津（おおつ） 昌克（まさかつ）

こども政策の推進について

問 令和5年4月1日に子ども家庭庁設置、こども基本法施行、こども大綱策定と、こどもまんなか社会を目指し世の中は動き始めた。倉吉市の令和6年度当初予算編成の基本的な方針に、子育て施策について特徴的な取り組みを検討するとされている。それらを踏まえ、本市における今後の子ども施策に対する考えはどうか。また国、県の動向により、倉吉市のこども計画策定の考えはないか。

答 本市においてもこのこども大綱の目指す、こどもまんなか社会の実現に向けて庁内組織の横断的連携、地域や民間団体と共に連携し、社会全体ですべての子ども、若者が幸せな状態で成長できるよう取り組みたいと考えている。こども基本法第10条では、都道府県のこども計画等も勘案して市町村のこども計画を定めるよう努力目標とされている。鳥取県は令和6年度から5カ年を計画期間とするシン・子育て王国とっとり計画（仮称）の令和5年度中策定に向け取り組んでいる。
国の財政的支援も令和8年度まで予定されており、国のガイドラインも今年度末には公表するとのこと。国のこども大綱とか、鳥取県の計画内容、また先行事例等も参考に本市におけるこども計画の策定を検討したいと考えているところである。

やらいや
朝日（あさひ） 等治（とうじ）

史跡大御堂廃寺跡の整備について

問 交付税の減額により、計画どおり整備が進められず整備期間が延長されるが、史跡の歴史的、学術的価値に鑑み、基本計画の変更を広く周知すべきでは。

答 整備内容を変更するものではなく、整備スケジュールの内容、順番を変更したものでホームページに掲載や倉吉交流プラザでリーフレットを配架して周知している。今後も史跡の歴史的価値、計画の周知を図りたい。

問 本市の景観計画及び県立美術館整備基本計画を尊重し、史跡及び県立美術館、交流プラザ周辺の景観を県立美術館開館までに整える考えは。

答 美術館に近い側の張り芝等、できるだけ広く行えるよう今後、補正予算対応等で調整をし、美術館南側の景観や美術館の運営に影響が出ないように実施したい。

問 食彩館について、県立美術館開館時には全店舗が営業の状態にあることを望むが、いかがか。

答 順次公募を行い、にぎわい創出を図っていくこととしており、美術館のオープンに合わせて相乗効果が発揮できるよう、周辺対応も図っていきたい。

星空舞の生産拡大について

問 市内農家の星空舞の生産に対し、栽培規模の区別なく、JA出荷を前提に、出荷量を基準として生産費を補助してはどうか。

答 今現在、本市単独の支援をすることは考えていないが、今後も農家の生産意欲が継続、増加するよう県と協調し、星空舞の周知、消費拡大等に努める。

新政会
伊藤（いとう） 正三（しょうぞう）

市民の健康を守る保健師・管理栄養士の体制について

問 健康推進事業に係わる保健師・管理栄養士等の管理監督職の割合が他市と比べて少ないのではないか。
職場での女性活躍、地位向上をどのように考えているか。

答 職員一人あたりの人口に対する割合は他市に比べて遜色ない。保健師については、年齢的な端境期（若返り）にあるが、女性職員の役職登用については積極的、意欲的に取り組んでいく。

里山整備について

問 里山整備として、倉吉の象徴である打吹公園を含む打吹山の一体的整備を提唱する。

答 打吹山の一体的整備については、財源として森林環境譲与税などを活用して、庁内で課題等の協議を行い、官民連携の整備検討協議会を設置して里山整備に取り組みたい。

少子化対策について

問 国の少子化対策について市長の見解は。

答 社会保険料の負担が増え、賃上げの取り組みがなされないままでは、若者の実質所得が減るので、少子化をとどめる流れにはならない。そのための国の財政支援と適切な措置を本市として望む。

新政会
米田（よねだ） 勝彦（かつひこ）

災害対応について

問 能登半島地震で市職員が派遣されている志賀町には、北陸電力の原発がある。本人に危険地域であることを伝えたか。また、県は原子力災害対策車を２台持っている。危険地域に職員を派遣するのだから、こうした車を一緒に持って行くべきでは。

答 原発の情報については、職員自ら情報を得ていると思うが改めて伝えたい。
原子力災害対策車派遣はおそらくしていないと思うが、派遣の際は注意喚起してまいりたい。

市街地活性化について

問 後継者のいない文化財はどういった方法で維持・保護し、未来に引継いで行くのか。対策を取らなければ大事な観光資源が倉吉から消えてしまう。

答 本市の国の指定史跡、県の指定保護文化財、市の指定文化財は合計１２２件ある。映像で残す、直接伝承する等、文化財が置かれている環境ごとに、所有者と共に保存の方法を考えたい。

外国との教育交流について

問 倉吉市の先生と、日本と歴史的に関係の深いアジア地域の先生とで交流してはどうか。

答 国際姉妹都市の羅州市と小・中学生が交流する際には教員が引率をするので、交流の機会をつくることは可能。
また、教職員等海外派遣研修制度などの補助金があり、教員短期海外研修などで交流を行っている教員もいる。

新政会
鳥飼 幹男（とりかい みきお）

災害用マンホールトイレ整備計画について

問 能登半島地震では、断水による避難所トイレの衛生環境の悪化が深刻化した。そこで、本市では災害用マンホールトイレの整備に着手しているが、整備計画はどうなっているか。

答 小学校（旧小学校も含む）13カ所に整備する。令和6年度に5校、令和7年度に8校の整備を行い、防災井戸も整備することで、給水も可能な対応を取ることができる。地域住民による運用が重要になるため訓練等を通じて周知を図りたい。

安価で合理的な「低コスト耐震改修工法」について

問 本市は木造住宅の耐震化が進んでいない現状があり、要因として高齢化と多額の費用負担がある。従来の耐震改修工事に比べ、より安価で短期間で耐震化できる「低コスト耐震改修工法（低コスト工法）」を採用することで、費用負担の軽減につなげ、住宅の耐震化が飛躍的に伸びている自治体もある。本市も「低コスト工法」の普及啓発に取り組み、行政、設計士、工務店との連携を図り、市独自の施工体制を構築し住宅所有者へ働きかけるべきだと考えるがどうか。

答 「低コスト工法」による耐震改修の普及、ノウハウの蓄積は重要な取り組みである。本市としても施工業者の技術力向上等の取り組みについて県と連携して啓発を行いたい。「低コスト工法」の施工業者登録制度も考えてみたい。民間と連携しながら住宅の耐震化を早急に進めていくべきであり、有効な方法等を協議しながら進めて行きたい。

新政会
鳥羽 昌明（とば まさあき）

能登半島地震を教訓とした防災減災対策について

問 本市の補助事業でこれまで行われた住宅耐震診断件数と、その後改修設計と耐震工事へ進んだそれぞれの実績は。

答 補助事業を創設した平成18年度から令和5年度までの18年間での住宅耐震診断件数は370件で、その後、改修設計につながったのは75件、さらに耐震工事に至ったのは64件と非常に少ない。今回の能登半島地震を受けて相談件数が増えてくれば、議会へ補正予算を提案するなどしっかりと支援させていただきたい。

問 耐震改修が進まない要因として、高齢者にとって費用負担が大きいことと、古い家にお金をかけたくないとの理由が挙げられる。しかし、古い家だからこそお金をかける理由があり、東京都墨田区ではバリアフリー改修と同時に行えば補助率UPという制度により耐震改修実績を伸ばしている。工事事業者側にとってもインセンティブとなるこうした仕掛けを、本市も検討すべきでは。

答 リフォームやバリアフリー改修のタイミングに合わせて耐震改修が行われれば、別々に行うより工事期間を短縮でき、費用面でも効率よく進められると思う。墨田区の制度を研究し、色々な補助金の合わせ技で耐震改修が一層進められるような取り組みにつなげていきたい。

新政会
竺原 晶子（じくはら しょうこ）

ひとり親家庭子ども養育支援事業について

問 養育費の取り決めに係る補助は子ども家庭課で受け付けているが、面会交流支援事業の取り組みは。

答 子ども家庭課に女性相談員を配置して子どもの養育や病気、離婚等の相談を受けている。面会交流についての相談は現時点ではほとんどない状況。今後相談が増えるなどの実態を見ながら、今後の検討課題とさせていただきたい。

スクールソーシャルワーカーについて

問 相談したい場合は直接教育委員会へ電話してよいか。

答 学校でもよいし、教育委員会学校教育課に連絡していただいてもよい。

心のケア、早期発見対応について

問 各学校が取り組んでいることは。

答 児童生徒の様子を把握するアンケートは、定期的に行っている。書かれていることで気になることがあれば、その日のうちの聞き取りはかなりできている。ハイパーQU（よりよい学校生活と友達づくりの為のアンケート）は小学校4～6年生対象で年2回春と秋に実施。その日のうちに教員から何らかの働きかけをし、実施後に詳しい分析をし、教育相談、家庭との連携などの手立てを行っている。複数教員の連携、学校全体の共通理解、外部機関との連携、組織的な取り組みによってより効果的になることを目指して取り組んでいる。アンケート実施後、気になる記述があったものについては、どのように手立てを講じたかとともに別ファイルで保存するのが一般的な保存方法。今後はDX化により必要なデータをフォルダに保存する方法もあるかと思うが、検討の余地がある。

日本共産党
佐藤 博英（さとう ひろひで）

防災について

問 公営住宅に井戸を設置して、融雪をしてはどうか。災害時にも水供給に使える。

答 ポンプや井戸の排水設備等を考えるとそれぞれ費用がかかるので、今は実現が難しいと思っている。

小中学校の問題について

問 教職員の長時間労働への対策はどうか。学力編重になっていると考えるが、県の学力テストをやめるよう検討してほしい。

答 校長会において、教職員の勤務状況について確認を行っており、気になる学校については、個別に連絡をして助言を行っている。また、安全衛生推進協議会において働き方改革の現状を把握し、解決に向けての協議を行っている。3年目になる県の学力、学習状況調査は、子どもへの適切な個別指導になっているので、しばらく続けたいと思う。

問 小中学生の不登校は、倉吉市は特に多いが、その状況については。

答 年間30日以上の欠席で不登校と呼んでおり、年々増えている状況にある。

問 スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを正職員化すべきでは。

答 スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの正職員化は、定数管理の点からも難しいと考えているが、待遇面の検討は考えてみたいと思う。

【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。
※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。

市議会提出議案

議員名	通　告	担当部局
大津昌克	給与条例 特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	総務部
	権限条例 倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定について	経済観光部
	権限条例 倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定について	教育委員会
	条例の整備 倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	経済観光部
	条例の整備 倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	教育委員会
大月悦子	給与条例 特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	総務部
田村閑美	権利の放棄 権利の放棄について	教育委員会

議員名	通　告	担当部局
山根健資	権限条例 倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定について	経済観光部
	公告式条例 倉吉市公告式条例の一部改正について	総務部
米田勝彦	権利の放棄 権利の放棄について	教育委員会
佐藤博英	権利の放棄 権利の放棄について	教育委員会

公告式条例 …議案第20号　倉吉市公告式条例の一部改正について
給与条例 …議案第23号　特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について
権限条例 …議案第28号　倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定について
条例の整備 …議案第29号　倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
権利の放棄 …議案第35号　権利の放棄について

主な質疑・答弁

特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について

Q 特に議員の報酬改定について、審議会での議論で本市の類似団体との比較はされたか。

A 県内4市と中国地方の類似団体の比較検討を行った。

Q 審議会の公表は。

A ホームページで公表している。

倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定について
倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の整備に関する条例の制定について

Q 教育委員会の所管事務のうち文化財の保護に関する事務について、第12次総合計画、教育振興基本計画とはどのような扱いになるのか。また、計画の更新されるとき（特に教育振興基本計画が更新されるとき）、文化財の項目については、教育委員会はもう関わらないのか、それとも何らかの関与があるのか。

A 【経済観光部】基本構想においては、地域資源を活かしたまちづくりとして、文化財の保存・活用・伝承という基本計画の中で、市内にある文化財の調査、保護、活用の推進、歴史的建造物の保存・活用の推進、文化財に触れる機会の創出、文化財の積極的な情報発信などの施策を定めている。

A 【教育委員会】市長部局への移管に伴い、組織機構図、基本施策を見直すように今、作業を進めている。学校教育の場面（小・中学校）、社会教育の場面でも教育普及活動を行っていくので、教育委員会として文化財とどう関わっていくか内容の変更をしていく。

権利の放棄について

Q 今回の権利放棄は自己破産によるものと議案説明会で伺ったが、給食費の延滞、滞納状況は。

A 令和4年度の決算で滞納額が3，800万円余り。平成30年度が4，240万円余りで比較すると減少している。

Q 延滞や滞納している保護者に対して、支払いし易いサポート支援はあるか。

A 分納対応や児童手当から指定の額を引き落とす対応をしている。
支払いが困難な場合は、ぜひ、給食センターに相談いただきたい。

令和６年
3月
第２回
定例会

【常任委員会】

【常任委員会とは？**】**

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

予算決算常任委員会

委員	大津 昌克 委員長 藤井 隆弘 副委員長 朝日 等治 委員　伊藤 正三 委員 大月 悦子 委員　佐藤 博英 委員 竺原 晶子 委員　田村 閑美 委員 鳥羽 昌明 委員　鳥飼 幹男 委員 福井 典子 委員　福井 康夫 委員 福谷 直美 委員　丸田 克孝 委員 山根 健資 委員　米田 勝彦 委員
所管	予算決算に関する事項について審査・調査

予算決算常任委員会（以下、予算委員会）には、令和６年度当初予算をはじめ、特別会計予算、企業会計予算等、計18件の議案が附託され、それらを３日間にわたって審査しました。特に令和６年度当初予算は、３４２億２５０万７千円と過去最大であり、特別会計、企業会計を含めると５２４億３，８４７万円もの予算を審査することとなりました。

この度は、今議会から本格導入したタブレット端末によるペーパーレス化、予算委員会設置後初となる当初予算の審査の他、初めてづくしの記念すべき委員会となりました。

開会冒頭大津委員長より、令和５年７月に制定された倉吉市議会基本条例による、「委員会機能の充実と発揮（第３条第１項）」「市長等の反問権（第11条第２項）」「議員間の自由討議（第15条第１項）」の活用が示され審査が始まりました。また、通常常任委員会には市長は出席しませんが、今回は令和６年度当初予算に対して、市長への総括質疑の申し出があり、３日目に市長が出席することとなりました。その際、早速総務部長より反問権が行使され、質疑内容の確認がなされました。

審査は各委員より、事業予算のより詳細な算定根拠と妥当性や、新規事業に対する計画の具体性と効果など、活発な質疑が行われました。

予算委員会最終日には、すべての質疑が終了した後、委員より議員間討議の要請があり、執行部退席の後、「倉吉未来中心周辺環境整備事業」について議員間の議論が深まりました。この時、質疑における答弁の確認のため、総務部長の再出席による答弁の補完も行われ、初めての当初予算審査ではありましたが、今までにない委員会としての機能が果たせたのではないかと思います。

今後は、これらの議論をしっかりと精査するとともに課題を検証し、次の決算審査に活かせられるよう努めたいと思います。そしてまた、決算からの予算審査、予算からの決算審査と、議会の政策サイクルが循環し、議会改革の検証にもつなげられるよう予算委員会機能の充実を図ることが必要と思われます。

審査の結果

付託された議案は、議案第３号令和５年度倉吉市一般会計補正予算（第11号）の専決処分の承認と、令和６年度倉吉市一般会計予算をはじめとする全ての予算案件は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

※「反問権」と「議員間の自由討議」（議員間討議）の解説は、P15をご覧ください。

【常任委員会】

【常任委員会とは？**】**

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

厚生文教常任委員会

委員	山根 健資 委員長 福井 典子 副委員長 大月 悦子 委員　大津 昌克 委員 竺原 晶子 委員　鳥飼 幹男 委員 福井 康夫 委員　藤井 隆弘 委員
所管	市民生活部、健康福祉部 教育委員会

厚生文教常任委員会には、議案５件、陳情１件が付託され、委員会審査が行われました。今年度一杯で小椋教育長と藤井文化財課長の退任に伴い、それぞれの委員から労いの言葉がかけられました。

議案第34号「倉吉市コミュニティセンターの指定管理者の指定について」では、委員会から指定移管料の内、人件費の資料の提供を執行部に求め、後日準備されるとの報告を受けました。

議案第35号「権利の放棄について」では、給食費の滞納額の確認やその内訳や今後の回収方法等が議題に上がりました。回収の方法については各課の連携、専門家等のアドバイスも受けながら適切に対処されるとの意見が出ました。

陳情第２号「市民からの意見の積極的公表について」では、意見の公表のガイドラインについて各委員から意見を頂きました。執行部からの回答では、ガイドラインの運用そのものがあいまいだということで運用を細部まで徹底させていきたいとの報告を受けました。

会場には陳情者が傍聴に来られており、委員会内での執行部と委員との議論内容を聞かれていました。

審査の結果

付託された議案は、全て原案可決されました。

陳情第２号は採択すべきものと決定いたしました。

総務産業常任委員会

委員	米田 勝彦 委員長 佐藤 博英 副委員長 朝日 等治 委員　伊藤 正三 委員 田村 閑美 委員　鳥羽 昌明 委員 福谷 直美 委員　丸田 克孝 委員
所管	総務部、建設部、経済観光部、 農業委員会、会計管理者、 上下水道局、議会事務局、 選挙管理委員会、監査委員、 公平委員会

総務産業常任委員会には、議案11件、陳情５件が付託され、委員会審査が行われました。

議案第27号では、関金の簡易宿泊施設（湯楽里）の設置及び管理に関する条例の廃止について説明を受け、廃止に伴う解体工事前に、中の備品の譲渡会を計画しているとのことでした。また、解体は６月末までを予定し、跡地にはバーベキューのテラスとしての運用を考えているとの説明でした。

議案第28号では文化財の保護に関する事項が、この度、教育委員会から市長部局に移ることについては、国がその保存と活用の具体的計画を求めてきていることがある、との説明でした。

議案第30号では下水道計画処理人口は現在、33,352人で、今後５年間、大きな変更はないとの報告でした。

審査の結果

付託されました議案は、全て原案のとおり可決されました。

陳情は、全て採択すべきものと決定いたしました。

令和６年
3月
第２回
定例会

【議案等の議決結果】

３月定例会に提出された議案等のうち、賛否が分かれた案件は、６件でした。議員個人の表決は以下のとおりです。なお、表に掲載していない議案等は、「起立全員」、「異議なし」で可決・同意されました。

議決結果

【会派名】や…やらいや　新…新政会　共…日本共産党

賛否の内訳

		や									新						共			
		朝日等治	大月悦子	大津昌克	福井典子	田村関美	山根健資	藤井隆弘	丸田克孝	福谷直美	鳥飼幹男	福井康夫	鳥羽昌明	竺原晶子	伊藤正三	米田勝彦	佐藤博英	賛成	反対	議決結果
議案番号	件　名	議案に対する賛否																		
議案 第　7号	令和６年度倉吉市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	×	13	1	原案可決
	令和６年度倉吉市一般会計予算に対する組み替え動議（提出者　米田勝彦）	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	※	×	×	×	○	○	2	12	否決
議案 第　23号	特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	×	13	1	修正可決
	議案第23号　特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正についてに対する修正動議（提出者　山根健資）	×	×	○	○	×	○	×	×	－	○	※	○	○	○	○	○	9	5	可決
議案 第　28号	倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	×	13	1	原案可決
議案 第　29号	倉吉市教育委員会の権限の特例に関する条例の制定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	×	13	1	原案可決

凡例　○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、－議長のため表決に加わらず

請願・陳情の結果

			や								新						共			
			朝日等治	大月悦子	大津昌克	福井典子	田村関美	山根健資	藤井隆弘	丸田克孝	福谷直美	鳥飼幹男	福井康夫	鳥羽昌明	竺原晶子	伊藤正三	米田勝彦	佐藤博英	賛成	反対	議決結果
番号	件　名	委員長報告（付託委員会）	委員長報告に対する賛否																	
陳情 第　1号	食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	○	14	0	採択
陳情 第　2号	市民からの意見の積極的公表について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	○	14	0	採択
陳情 第　3号	企業・団体献金の廃止を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	○	14	0	採択
陳情 第　4号	政党助成金の廃止を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	○	14	0	採択
陳情 第　5号	いわゆる裏金問題の再発防止を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	○	14	0	採択
陳情 第　6号	メールボックスの適切な管理について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	※	○	○	○	○	○	14	0	採択

凡例　○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、－議長のため表決に加わらず　※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成は「○」、反対は「×」と記載しています。

動　議

令和６年３月22日（金）

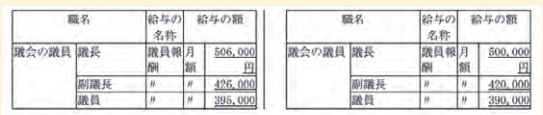
①議案第7号「令和６年度倉吉市一般会計予算に対する組み替え動議」を米田議員、佐藤議員が提出

＊内容：歳出の部のうち、第２款総務費に「倉吉パークスクエア集いの森（仮称）建築工事」として計上されている予算を減額すること。

・米田議員が提案理由の説明
・質疑　なし　　・討論　なし
・採決　組み替え動議は、賛成少数で否決
　賛成　２人　　反対　12人

②議案第23号「特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正についてに対する修正動議」を山根議員、米田議員、鳥飼議員、伊藤議員、福井典子議員、鳥羽議員、竺原議員、大津議員が提出

＊内容：特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の一部を次のように修正する。



を

略　　略

に改める。

・山根議員が提案理由の説明
・質疑　なし　　・討論　なし
・採決　修正動議は、賛成多数で可決
　賛成　９人　　反対　５人

＊修正可決した部分を除く原案について
・採決　　賛成多数で原案可決
　賛成　13人　　反対　１人

※採決の内訳は上記のとおり

【特別委員会】

【特別委員会とは？**】**
臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

第２次議会改革推進特別委員会

委員	朝日 等治 委員長、大津 昌克 副委員長、 伊藤 正三 委員、大月 悦子 委員、鳥羽 昌明 委員 鳥飼 幹男 委員、福井 康夫 委員、藤井 隆弘 委員 山根 健資 委員

当委員会では、
①倉吉市ハラスメント防止条例の策定に関すること
②主権者教育の取り組みに関することの２事件について、12月議会定例会の議決に基づき調査事件に加え、全９事件について調査を行っています。

２月９日には、同条例の制定に向け、働き方サポートオフィスの河井慎一郎氏を講師に迎え、「ハラスメントを考える」をテーマに、全議員を対象にした講習会を開催し、意識を共有しました。

講演会後の２月22日には、第４回の委員会を開催し、条例のコンセプトのほか、ハラスメントの具体的な規定、範囲、スケジュールについて協議したほか、議員定数、報酬に関することについての調査を行いました。

３月15日の第５回の委員会では、同条例案の具体的な検討を始めたほか、議員定数については、同月１日開催の議員懇談会において、全議員から聴取した定数のあり方を参考に具体的な調査に入りました。

また、ハラスメント防止については、４月２日付で全国市議会議長会からオンデマンド配信のあった「地方議会議員のためのハラスメント防止講座」により、各個研修にも取り組んでいます。

なお、全国で相次ぐ議員の言動に起因するハラスメントの多発を受け、本市の同条例制定に向けての調査を更に深めるほか、３月議会定例会で可決した特別職の報酬の内、議員報酬を据え置く修正動議の可決に基づき調査を進めていきます。

（調査・検討事項）
- 定例会の会期のあり方に関すること
- 常任委員会の手法に関すること
- 議案説明会の運営方法に関すること
- 議会基本条例の具体的運用に関すること
- 政治倫理条例の見直しに関すること
- 議員定数、報酬に関すること
- 通年議会に関すること

地域の賑わい創出対策特別委員会

委員	田村 閑美 委員長、福井 典子 副委員長、 佐藤 博英 委員、竺原 晶子 委員、福谷 直美 委員 丸田 克孝 委員、米田 勝彦 委員

令和6年３月15日（金）に委員会を開催し、史跡大御堂廃寺跡整備事業、倉吉パークスクエア集いの森（仮称）整備事業、倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画について協議を行いました。

この度は、委員会開催前に大御堂廃寺跡の現在の整備状況について情報を共有するため、現地の確認も行いました。執行部からは、一部で利用が予定される人工芝や基壇部分の舗装サンプル等も提示され、今後の整備計画について説明がありました。

委員会では、それぞれの事業や計画の進捗状況等の報告を受け、意見交換を行いました。

倉吉市周遊滞在型観光地モビリティ向上計画においては、県立美術館の開館を１年後に控えており、令和６年度事業として、グリーンスローモビリティーの実装に向けた車両購入（１台）等の環境整備を進めながら、これまで行ってきた実証実験で明らかになった課題の解決を図っていくとの説明がありました。実証実験において課題となった白壁土蔵群内での速度の抑制については、街路の路側にフラワーポットやベンチ等を配置し、おもてなし・ゆっくり空間を創出すること、また、ドライバー不足や高齢化については、交通空白地自家用有償運送制度を活用することで、地域おこし協力隊とU-MOサポートドライバー（地域住民による有償ボランティア）の共創による持続可能な運行体制を構築するなど、具体的な課題解決に向けた考えが示されました。

委員からは、車両をより大勢乗れるものにしたり、２台にすべきでは等の意見も出されましたが、道幅を考えると大型のものは難しく、実証実験では１台で賄えていることを踏まえ、まずは１台でしっかり運行していける体制をつくっていくとの回答がありました。

現在進行中の史跡大御堂廃寺跡整備事業、倉吉パークスクエア集いの森（仮称）整備事業と合わせて、今後も地域のにぎわい創出に向けて、本委員会で協議を深めていくこととしています。

倉吉市議会基本条例（用語解説）

「反問権」とは？

第11条２　本会議又は委員会に出席を要請された市長等は、議員の質疑及び質問に対して、議長又は委員長の許可を得て反問することができる。

◆市長等は質問の内容、背景等を明確にするための質問をすることが出来るものとします。これにより、論点や争点が明確になるとともに、より深い議論、より多角的な視点からの議論が可能となります。

「議員間の自由討議」（議員間討議）とは？

第15条　議会は、議会の運営及び議案等の審議又は審査に当たっては、議員相互の自由な議論を尽くす場を設け、合意形成に努めなければならない。

◆市長や執行部に対してだけでなく、議員相互の自由な議論が尽くされ、合意形成に努めることが倉吉市議会には求められています。議員同士が自由に意見を交換し、違いを認め合いながらも合意形成に向けて努めることで、市民のためのより良い政策、市民の期待に応える政策の立案や、地域の発展に貢献する施策の実現につながると考えられます。

視　察　報　告

期　　間	令和６年１月30日（火）～２月１日（木）		旅 費 総 額	731,040円
視察先・目的	東京都新宿区	小田急電鉄株式会社	くらよしよし倉吉プロジェクトの取組について	
	新潟県三条市	三条市役所栄支所	三条市子ども・若者総合サポートシステムについて	
	新潟県十日町市	越後妻有里山現代美術館	越後妻有里山現代美術館と大地の芸術祭について	
視察者（会派）	朝日 等治、大津 昌克、大月 悦子、田村 閑美 福井 典子、福谷 直美、藤井 隆弘、山根 健資			8人

期　　間	令和６年２月６日（火）～７日（水）		旅 費 総 額	56,600円
視察先・目的	東京都千代田区	リファレンス国際ビル貸会議室	地方議員研究会 「公共施設マネジメント政策」 「人口減少対策（まちひとしごと総合戦略）」講座 参加	
視察者（会派）	鳥羽 昌明			1人

期　　間	令和６年２月18日（日）～19日（月）		旅 費 総 額	46,770円
視察先・目的	広島県東広島市	イノベーションラボ ミライノ+	地方創生×女性活躍　セミナー	
			東広島市共創型起業プログラム「円陣」の取組調査	
視察者（会派）	田村 閑美			1人

期　　間	令和６年２月20日（火）～21日（水）		旅 費 総 額	64,360円
視察先・目的	東京都江東区	東京ビッグサイト	防災産業展2024	
			グリーンインフラ産業展2024	
			スマートファクトリーＪａｐａｎ2024	
視察者（会派）	米田 勝彦			1人

令和6年 6月 倉吉市議会定例会

【会　　期】6月17日(月)～7月3日(水)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内　容	
6月17日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
18日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
19日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
20日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
21日	金	予備日			
22日	土	休会			
23日	日	休会			
24日	月	本会議	午前10時	付託議案に対する質疑～委員会付託	
25日	火	委員会	午前10時	予算決算常任委員会(予定)	
26日	水	予備日			
27日	木	委員会	午前10時	常任委員会(総産・厚文)(予定)	
28日	金	休会			
29日	土	休会			
30日	日	休会			
7月 1日	月	予備日			
7月 2日	火	議事整理日			
7月 3日	水	本会議	午前10時	委員長報告～付議議案の討論・採決	

…ケーブルテレビ放送あり　※録画放送は開催日の午後７時から。

…手話通訳あり

倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録などを掲載しています。

倉吉市議会　検索

編集後記

議会だより29号をお読みいただきありがとうございます。ご意見ご感想をお寄せいただきましたら嬉しいです。お待ちしています。

３月１日開催の定例議会からすべての紙の資料をタブレットに集約する完全ペーパーレス化が始まりました。

年間で用紙代を含む印刷費や人件費、約534,000円の経費削減と業務効率化につながります。

最初は議事の内容を探すのに一苦労いたしましたが、慣れてくるとメモ書きもでき、画面で比較検討でき、すべてが集約されているのも便利になりました。

まずは使って慣れろ!! まさにその通りと実感しています。

今年も梅雨の季節がやってきました。しっかりと梅雨対策をして快適に過ごしましょう。

（編集副委員長：大月悦子）

議会だより「白壁」のご意見・ご感想はこちら ▶

市民の声

ねんりんピックはばたけ鳥取2024（卓球競技の部）

大会副会長

安藤節郎（あんどうせつろう）さん

ねんりんピック鳥取県（倉吉市）開催への思い

第36回全国健康福祉祭鳥取大会「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」が県内各地で10/19（土）～22（火）まで開催されます。

大会期間中は全国から選手や役員ら関係者1万人以上を含む40万人の参加（観客も含む）が見込まれています。

参加者は60歳以上の高齢者ですが、スポーツや文化芸術で勝ち負けを競い合うだけでなく、ふれあいや交流を深め、健康の保持・増進、生きがいづくりが大会の目的です。

倉吉市では、卓球、ウォークラリー、バウンスボールの３種目が開催され、1,000人を超える選手と関係役員、家族が倉吉を訪れることとなります。

特に全国から訪れた多くの参加者が交流大会の後、その土地を楽しむことが多くなっています。

ねんりんピックの盛り上がりは必ずや将来のまちづくりにつながると思っています。

私も卓球選手として、昨年の愛媛大会に参加しました。卓球交流大会は、宇和島市で開催され、地元のおもてなしや細やかな気遣いが改めて思い出されます。

対戦した選手に「来年は鳥取県の倉吉市でお会いしましょう」と声をかけました。

市に望むこと

参加した選手や関係者に「くらしよし・くらよし」のもてなしの心で接し、もう一度行きたいまち「くらよし」になれば。と願っています。

発行：倉吉市議会 ／ 編集：議会だより編集委員　〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722　TEL.(0858)22-8145　FAX.(0858)22-8146

【議会だより編集委員】福井 典子委員長、大月 悦子副委員長、朝日 等治委員、竺原 晶子委員、鳥羽 昌明委員、山根 健資委員

UD FONT